

今月は選択問題、ぬき出し問題の解き方についてお話します。読解問題の中でも選択問題は出題の比率が高く、正答率を高めることは中学入試を突破するうえで重要になります。また、ぬき出し問題は正解の箇所を見つけるのに時間がかかる場合もあり、限られた時間の中で解かなければならない入試において、その処理の仕方がポイントとなります。

まず、選択問題の解き方から説明します。選択問題に関する相談で一番多いのは、「選択肢を2つにしばらくのところまではいけるのだが、いつも誤りの方を選んでしまう」というものです。これは選択問題を消去法で解こうとしているので起こる問題だと言えます。消去法を使って解くことが絶対によくはないというわけではないのですが、実は消去法では解くことができない問題もあるのです。それは、説明しなければならないポイントが複数ある問題です。たとえばAとBの2つの内容を説明しないといけない問題で、Aの内容しか書いていない選択肢、Bの内容しか書いていない選択肢、AとBの両方の内容を書いている選択肢があったとします。もちろん正解はAとBの両方の内容が説明されている選択肢ということになりますが、消去法で解こうとすると、この3つの選択肢はどれも消せません。なぜなら、どの選択肢の内容にも誤りがないからです。このように消去法は完璧な解法ではないのです。

得てして選択枝問題が苦手な生徒は、消去法、つまり選択枝に頼って問題を解こうとしているので、その姿勢を改めることが選択問題の正答率を上げる鍵になります。

もちろん、消去法で解くのが非常に有効な問題もあります。それは、本文に傍線が引かれていないタイプの問題です。たとえば、本文の内容と一致する選択枝を選ぶ問題では、選択枝に書かれている内容を本文の内容と照合させ、選択枝のどこが誤りなのかをおさえるようにします。

では、選択問題を解く際には、どのようなスタンスが必要なのでしょう。それは、設問文を読んだ後、そのまま続けて選択枝に目を通すのではなく、前回説明した読解問題を解くときの4つの方法を使って、まず頭の中で解答を想定します。そしてその想定した解答と一致する選択枝を選ぶようにします。もちろん、解答を想定してから選択枝を見ても、2つの選択枝で迷うことはあります。そのときは、2つの選択枝の説明の違いがどこにあるのかを分析してください。そしてその違いを意識しながらもう一度本文を確認し、どちらが正しいかを検討するようにします。このようにすれば、選択問題での誤答を減らすことができるでしょう。

続いて、ぬき出し問題の解き方を説明したいと思います。設問を解く際の基本的な考え方は選択問題と同じです。設問文を読んで、解答を頭の中で作成します。そして、解答として想定した内容が書かれている部分を文中から探すようにします。

しかし、この探すという作業が厄介で、これがぬき出し問題を難しくしている要因なのです。なぜ厄介かというと、解答の場所がある程度限定できる問題と、そうではない問題があるからです。本文を読んだときに本文全体の構成を正しく理解していれば、どこにどのような内容が書かれているかが分かっているため、探す部分に目星がつけられます。逆に言えば、本文の内容、本文の論理展開が正しく理解できていない場合は、探す箇所を限定できず、本文を最初から最後までもう一度読み直し、探すしかないこととなります。また、問題によっては、本文全体からやみくもに探さざるを得ないものもありますし、傍線の内容とは全く脈絡のない部分に解答があるという作問がなされることもあります。

したがって、ぬき出し問題では、その設問に手を出さないというのも戦略の1つになります。つまり、解答が想定できても、ぬき出す場所がすぐに見つからないときは、いったんその設問はパスした方がよいと言えます。

次に、字数制限のあるぬき出し問題の解き方、注意すべき点について説明します。ぬき出し問題の字数制限は、5文字単位で考えます。たとえば、30字以内でぬき出す問題だと、解答の文字数は26字から30字の間になります。また、長い字数設定の問題では、設問が作られている傍線部分の表現に対応させて、ぬき出す部分の「終わり」を先に見つけるようにしてください。そして、下から上に字数を数えるようにします。ぬき出しの「始め」の部分を見つけないと、設定字数に合わないときは、また初めから数え直すことになってしまい、時間を浪費することになります。「終わり」を先に探せば一回数えるだけで解答の場所を確定できるので、時間の短縮につながります。

最後に、各回のポイントをあげておきます。

### 第15回

心情説明の3回目になります。「きっかけ」「心情」「行動・動作」の関係をふまえ、解答を作成するように心がけてください。傍線部の前後に会話文があるときは、その会話の内容を手がかりに考えると、解答が導きやすくなります。

### 第16回

物語文における、具体化説明を扱います。今回の教材では、比喻の説明が大きな山場となります。たとえに使われている表現の様子を頭の中で思い浮かべ、本文の内容とどこに共通点が見いだせるかを考えるようにしてください。

### 第17回

今回は「暗示・象徴」をテーマとして扱います。「暗示・象徴」によって示される内容は、物語の主題と関係します。したがって、物語の主題とどのようにつながっているのかを考えることが大切です。

6 灘 WEB においては春休みを除いて、7 月までで中学受験に必要な単元の発展的なものも含めた基本をほぼすべて扱います。

テキストは、算数強化ツール(の中の「応用」部分の前半)と、灘特訓テキストを使用し、それぞれ独立した動画があり、いずれも特に重要な問題を中心に一部の問題を扱っています。

学習法は共通しており、先に動画を一通り見て理解した上で、もう一度問題を解き直す…ということを繰り返していく方法と、動画で扱っている問題を確認して(動画においては、必ず問題を読み上げますので、その段階まで見て一旦動画を止めるとするのもいいと思います)、一旦自力で問題に挑戦し、その後、動画を見た上で、ご自分がほぼ理解できていたと思われたら次の問題に進み、何らかの間違いがあったり、正解したものの、新しい解法や知識などが展開されたりした場合は、解き直しをする(新しい解法で解いてみる)というステップを入れた上で、次の問題に進むという方法があります。

この、解き直す…という段階を経ることにより、実力が飛躍的に向上していきます。

理想としては、間違ったり、新しい発見があったりした問題については、少し間を置いて(例えば、1 週間、1 ヶ月など)再度解き直しをするとより完璧になります。

あと、動画がない問題についても、余裕に合わせて取り組んでみてください。この場合は、付属の解答解説を参考に、間違ったところについては解き直しをすることをお奨めします。

## 算数強化ツール

算数強化ツールに関しては、動画は「応用」の前半の部分の扱いますが、少し引っかかることが多いと感じた場合は、「基礎」や「共通」の部分も使って、練習を積むことをお奨めします。

### ◆第 15 回 (33 回) 平面図形・相似に関する問題

相似形に関する色々な問題を扱います。4, 5, 6, 7 はオーソドックスですが、間違いなく正解できるようにしておいてください。なお、7(1)は相似ではなく、三角形 ABM と三角形 ANM の面積の比から求められるということも知っておいてください。3, 15 もつながっています。2, 10, 11, 17, 18, 19, 21, 29, 33, 34 あたりは良問です。あと、1 もセンスが問われる問題で、本来①, ②, ③, …, ⑨の面積比は 1, 3, 5, …, 17 になるので、その和が等しいということを考えるのですが、○番号の数値のまま和が等しいと考えてもよいというところが面白い点になります。

学習対象問題は 1~20 と 32 です。21~31, 33~34 は余裕があったら取り組んでください。

### ◆第 16 回 (34 回) 速さに関する問題

図形が終わり、速さに関する問題となります。5, 11, 12, 13, 18 は定番の問題です。14, 22 も良問になります。また、信号の問題として 25 も好適です。

学習対象問題は 1~14 です。15~26 は余裕があったら取り組んでください。

### ◆第 17 回 (35 回) 速さに関する問題の続きと一部点の移動に関する問題

速さと点の移動に関する問題となります。1, 2, 5, 8, 9, 11, 20 は定番の問題です。また、12, 14 も良問です。

学習対象問題は1~12です。13~24は余裕があったら取り組んでください。

### 灘特進テキスト

#### ◆第15回 速さⅠ

速さに関する問題です。3, 5, 6, 7, 14などは基本的ですが、しっかりマスターしておきましょう。  
11, 16も良問です。

#### ◆第16回 速さⅡ

引き続き速さに関する問題ですが前回よりも少しレベルが高くなっています。3, 12, 16は定番の問題です。6, 10, 17~19も良問なのでしっかり押さえておきましょう。

#### ◆第17回 速さⅢ

点の移動や時計算に関する問題が多くなっています。1, 3, 5, 13, 14, 15, 17, 18と定番の問題が多くなっています。8, 11, 19, 20も良問です。

灘特進テキストについても、動画で扱っていない問題も積極的に取り組んでみてください。

予告ですが、最終回の動画は灘中予想問題になります。ご受講の方には直前での教材の発送となります。